

農業委員会だより

第 46 号

平成 28 年 9 月
田原市農業委員会
☎23-3519 / FAX22-3817
ID1001917



●耕作放棄地

農地利用状況調査（耕作放棄地調査）を実施します

農地は大切な財産であるとともに、地域にとっても大切なものです。しかし、近年、耕作放棄されて草木が生い茂った農地が見受けられます。耕作放棄された農地は、日当たりや風通しを妨ぎ、病害虫の発生源になるなど、周囲の農地や近隣住民に迷惑をかけることとなります。

農業委員会では、これまでも農地パトロールなどを行い、農地の遊休化防止に努めてきました。

本年度も9月から10月にかけて、耕作放棄地の解消に向け、すべての農地を対象に耕作放棄地の現地調査

を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

農地の有効利用を

いったん遊休化した農地を再び耕作可能な状態に復元するには、多くの費用と労力が必要です。作物を栽培しないときは農地を耕し管理耕作するなど、農地の所有者として適正な管理をお願いします。

自分で耕作できない場合は、農用地利用集積事業により認定農業者などに貸すなどして、農地の有効利用を図りましょう。

農地が狙われています！

悪質な業者は、産業廃棄物や建設残土の処分場所として、あなたの農地を狙っています。不用意に応じて農地を提供すると、ごみや残土の山として積まれてしまう恐れがあります。

農地として利用できなくなるのはもちろん、近隣地に被害が及ぶほか、地主に対して撤去費用を求められるなど、トラブルの要因にもなります。手遅れにならないように、農地の提供依頼があった場合は、必ず地元の農業委員または農業委員会へご相談ください。

熱中症・蚊にご注意を！

熱中症は、高温多湿な環境で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスの崩れや、体内の調整機能の破綻などにより発症する障害です。小まめに水分や塩分を補給するなどして、農作業中の熱中症予防に努めましょう。

また、ジカ熱やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

蚊は、風通しの悪いやぶ・草むらや小さな水たまりなどを好んで卵を産み付けます。

蚊の発生を減らすために、定期的に周辺環境の水たまりの除去、下草刈り、雨水ます・排水ますの清掃などを行ってください。

また、やぶなど蚊のいそうな場所の近くで農作業をする際は、虫除け剤を使用するほか、長袖・長ズボンを着用して肌を露出しないなど、蚊に刺されないようにしっかりと予防策を講じましょう。

